

広報

ときめき きらめき いきいきを伝える



Seki

せき

2014

5

No.1639



特集

市民のしあわせ ふくらんでます……P2

TOPICS

＜特集＞こだわりの原点…P5

＜特集＞公共施設再配置…P6

議会だより…P14

お知らせ…P24

健康情報…P33

文化会館・図書館…P34

元気いっぱい子どもたち（岐阜関カントリー倶楽部にて）

市民のしあわせ ふくらんです

●せきのまちづくり通信簿●

●照会先 企画政策課 ☎23-7014

関市民のまちづくりへの意識等を把握し、政策への反映に生かすため実施した「平成25年度アンケート調査」の結果を発表します。この結果を参考にしながら施策を展開していきます。

<アンケート調査の概要>

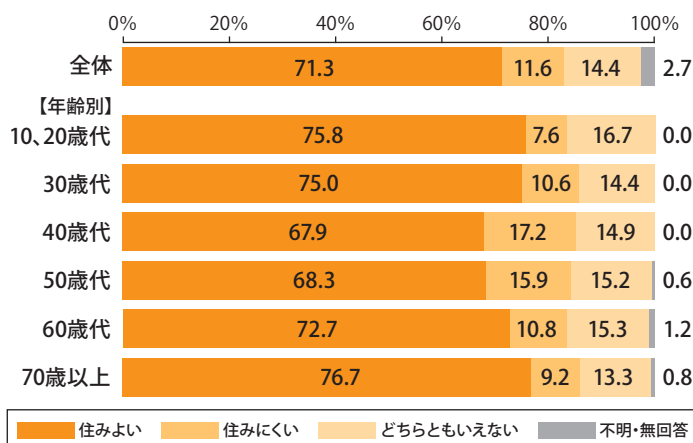
- 調査対象 平成26年1月現在、市内に居住する18歳以上の市民3,000人
- 調査期間 平成26年1月20日～2月3日
- 回収方法 本人による記入 郵送にて配布・回収
- 回収結果 1,011票／3,000票（回収率33.7%）

Q あなたは関市が住みよいまちだと感じますか？

71.3%が「住みよい」

回答者の71.3%が、関市を「住みよい」と感じています。年齢別でみると、10、20歳代と30歳代、60歳代以上では「住みよい」が70%を超えて高くなっていますが、40歳代、50歳代ではやや「住みにくい」とする割合が高くなっています。

※『住みよい』は「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」の合算、『住みにくい』は「どちらかといえば住みにくい」と「住みにくい」の合算。

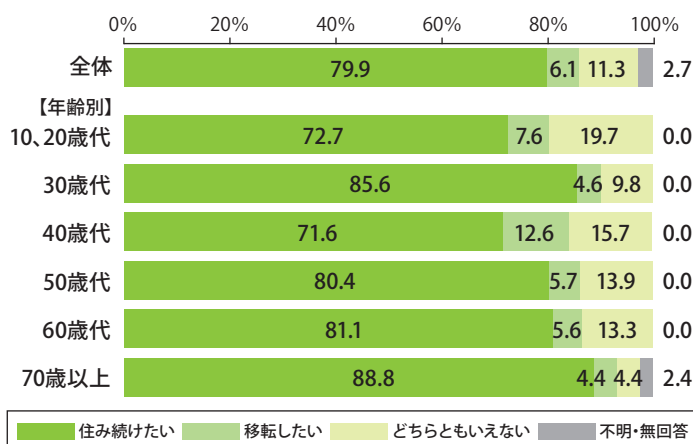


Q あなたは今後も関市に住み続けたいと思いますか？

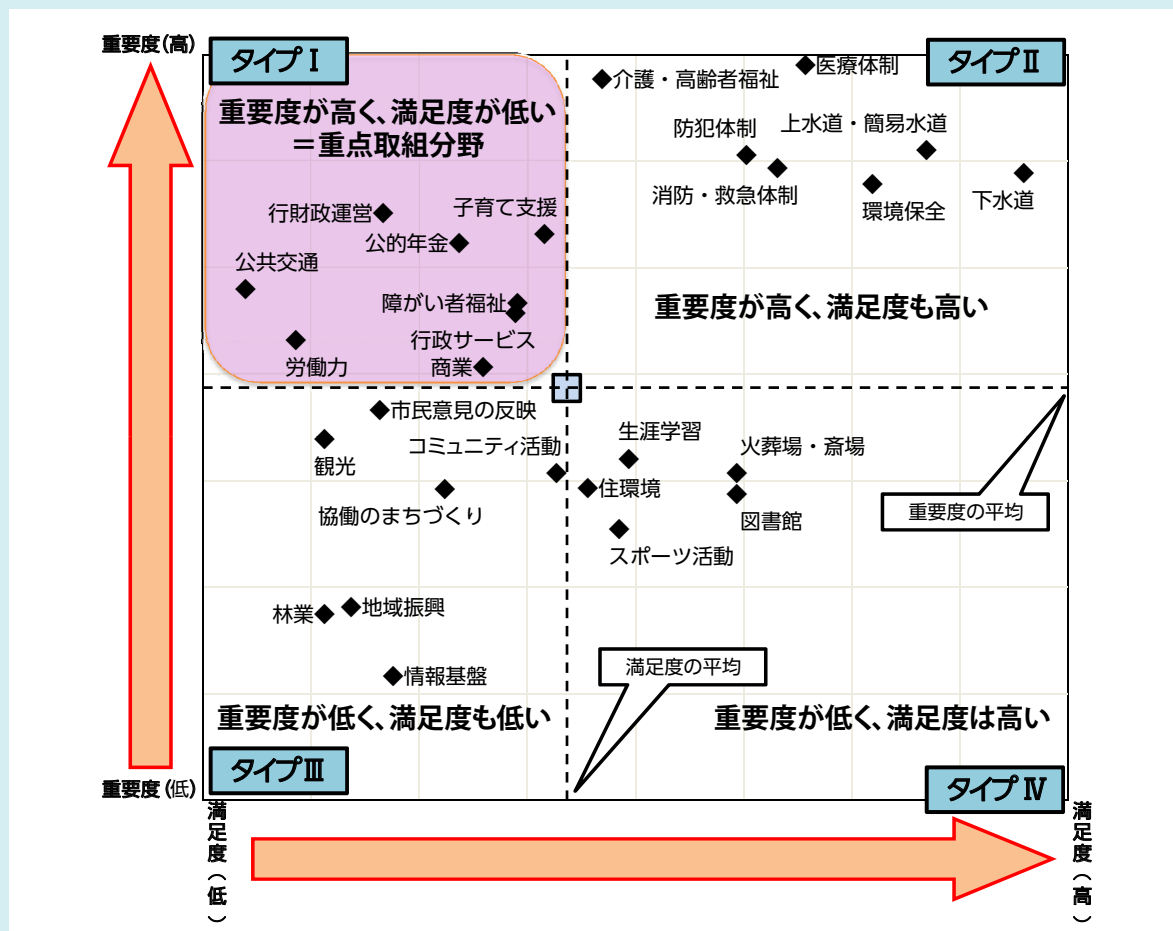
79.9%が「住み続けたい」

市への居住意向については、全体の79.9%が「住み続けたい」としています。年齢別でみると、30歳代と50歳代以上で居住意向が高くなっています。また、「移転したい」と回答した人にその理由をたずねたところ、「道路、交通の便が悪いから」「日常生活が不便だから」とする割合が高くなっています。

※『住み続けたい』は「ずっと住み続けたい」と「当分は住んでいたい」の合算、『移転したい』は「できれば移転したい」と「すぐにでも移転したい」の合算。



●満足度と重要度による分布

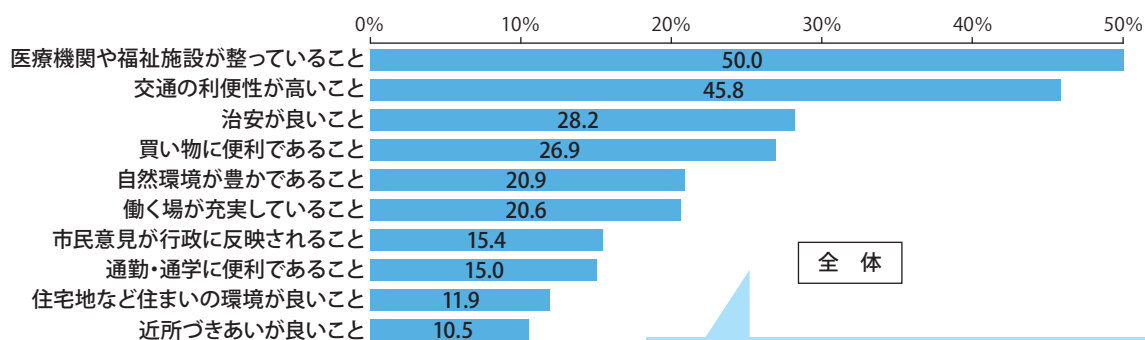


タイプⅠ（重要度が高く、満足度が低い）に分類されている施策には、「公共交通」、「子育て支援」「障がい者福祉」などの福祉関連の施策、「労働力」「商業」などの産業振興に関する施策、「行財政運営」「行政サービス」などの市政運営に関する施策があがっています。これらの施策はこれからも継続して力を入れて取り組んでいきます。

※50個の質問項目から抜き出して掲載しています。

Q 関市に住み続けるために重要だと思うことは？

第1位は「医療機関や福祉施設が整っていること」

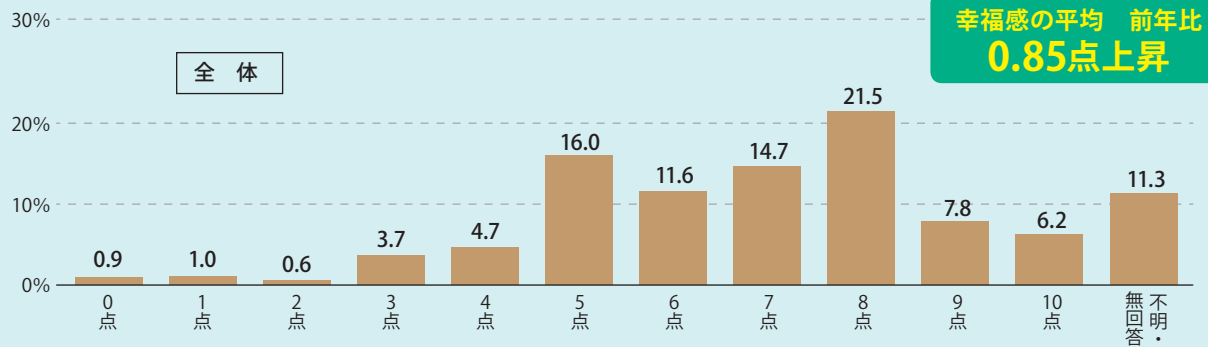


関市で住み続けていくために重要だと思うことは、「医療機関や福祉施設が整っていること」「交通の利便性が高いこと」の割合が高くなっています。

【年齢別の第1位】

20歳代～40歳代「交通の利便性が高いこと」
50歳代以上「医療機関や福祉施設が整っていること」

●市民の幸福感について



幸福感の点数（「とても幸せ」を10点、「とても不幸せ」を0点とします。）

	10、20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	全体
平均点	6.48	7.05	6.62	6.64	6.56	6.59	6.64
幸福感を判断する際に重視したこと	(前回調査)						5.79

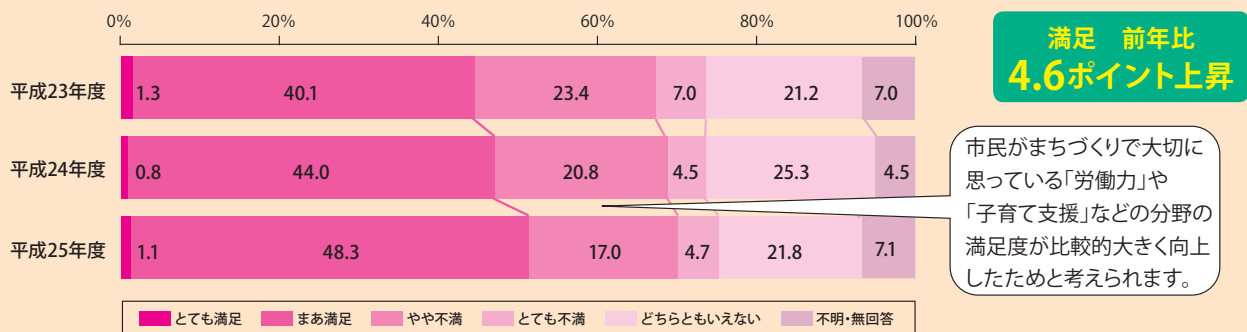
幸福感を判断する際に重視したこと

	10、20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代
1位	経済的な余裕があること	健康であること	健康であること	健康であること	健康であること	健康であること
2位	精神的に安定し、ゆとりがあること	家族関係が良好であること	家族関係が良好であること	家族関係が良好であること	家族関係が良好であること	家族関係が良好であること
3位	家族関係が良好であること	経済的な余裕があること	経済的な余裕があること	経済的な余裕があること	経済的な余裕があること	近所づきあいが良好であること

市民の幸福感を点数化すると、5点～8点で多く分布しており、全体の平均点は6.64点となっています。前回の調査よりも**0.85点上昇**しています。

幸福感を判断する際に重視したことは、多くの年齢層で「健康であること」「家族関係が良好であること」が上位となっていますが、10歳代、20歳代では「経済的な余裕があること」「精神的に安定し、ゆとりがあること」が上位にきています。また、70歳代では「近所づきあいが良好であること」という身近な地域に関することが上位に位置しています。

●まちづくり全体の総合評価について



まちづくりの全体評価をみると、「満足」（「とても満足」＋「まあ満足」）とする割合は49.4%となっており、前回の調査よりも**4.6ポイント上昇**しています。

このアンケートは、毎年、実施することで、市民の皆さんの幸福感やまちづくりに対する実感を把握し、政策に反映していきます。今年度は、来年1月に実施を予定していますので、お手元にアンケートが届いた方は、ご協力ください。

※表中の「%」は、小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

企業
探訪

特集

こだわりの原点

取材した企業

①奥長良川名水(株) 飲料水製造 洞戸栗原

②亀山建設(株) 設計・建築 稲口



奥長良川名水(株)

1「哲学」

清流板取川のほとりにたたずむ工場。奥長良川名水(株)ではミネラルウォーターを製造。自然に抱かれた工場内には、日本でも数少ない非加熱除菌が可能な最新の無人製造ラインが備わっています。約4.3キロ先から汲み上げた水はセラミックフィルターで無菌濾過されてペットボトルに充填されます。生きていくうえで最も大切な「水」に

こだわり研究を重ね、機能水と呼ばれる6種類の飲料水を開発しました。「いい水を飲めば、健康な身体になる」を合言葉に、水を通して社会に貢献する同社が、最も大切にしているのは「人材」だそうです。社員が心から幸せを感じる企業を目指してきたこだわりの経営哲学は、経営者から社員全員へと受け継がれています。岐阜県の水事業の核となる拠点としたい・・・社長の夢はこの地に観光工場を開くこと。洞戸に新たな名所が誕生する日は近い。



厳格な衛生管理の下、自動化された最新の製造ラインにおいても、最終的な人の目によるチェックは欠かせない。

2「21世紀の職人」

亀山建設(株)

全国の寺社仏閣を手掛ける宮大工の建築会社、亀山建設。職人の技と心を培うこの会社を取材すると、そこには最新の生産体制を備えた次世代型企業の姿がありました。「昔ながらのやり方でも改善するべきところがある・・・」風雅な建築物を建てる際も最新の技術に応用し効率化を図るため研究を続ける同社は、「21世紀の宮大工」を育てることに力を注いでいます。これからの大工は鑿と鉋、そしてパソコンのマウスを持つ時代であると、大型木工機械を導入しパソコン

「機械でできることは機械で」プログラムで制御された大型機械の手にかければ、柱となる大きな木材も正確に刻むことが可能だ。



操作による作業を習得している職人は、入社後5年間は寮に住み込み厳しい修業時代を経て初めて一人前と認められ、さらに10年で技術を習得しようやく棟梁として現場を任せられます。工場を仕切る工場長はトヨタ生産システムから学んだ生産体制によって一元管理しています。卓越した伝統技術にハイテク技術をプラスした、まさに21世紀の職人たちが誇りを持って仕事に打ち込む姿を見ることができました。

ビジネス
プラス展
in SEKI

約50社の企業が参加し、優れた技術力や高品質な製品づくりなどを発表します

- ◆期日 6月27日(金)・28日(土)の2日間
- ◆会場 関市文化会館・小ホール、ホワイエほか
- ◆主催 関市、関商工会議所、関信用金庫
- ◆照会先 商工課(☎23-6752)

公共施設
のカルテ

公共施設白書を公表しました

●照会先 秘書広報課 ☎23-7710



未来の関市からやってきた
マネジマン

少子高齢化や人口減少などにより財政状況が厳しさを増すなか、老朽化する公共施設の更新問題に対応するために、将来の関市を見据えた「公共施設再配置」に取り組んでいます。この取り組みの検討資料となる「公共施設白書」を作成しました。

教えて!マネジマン!

Q 関市にはどのくらいの施設があるの?

関市のすべての公共施設の面積の合計を市の人口で割ると、1人あたりの公共施設面積は、約4.86㎡/人。全国平均(約3.42㎡/人)の**約1.4倍**となっています。

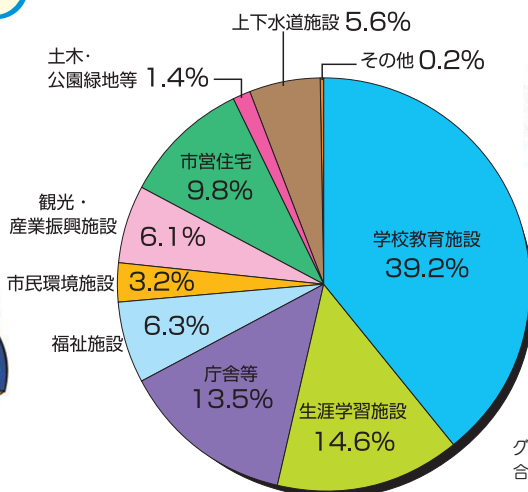


関市は平成17年に5つの町や村と合併した際に、それぞれの町や村に建っていた公共施設がすべて関市の施設になった。だから、全国平均よりも多くの公共施設を持っているんだよ。



古くなった建物には、**建替えや修理が必要**なんだ。

用途別の公共施設面積の割合



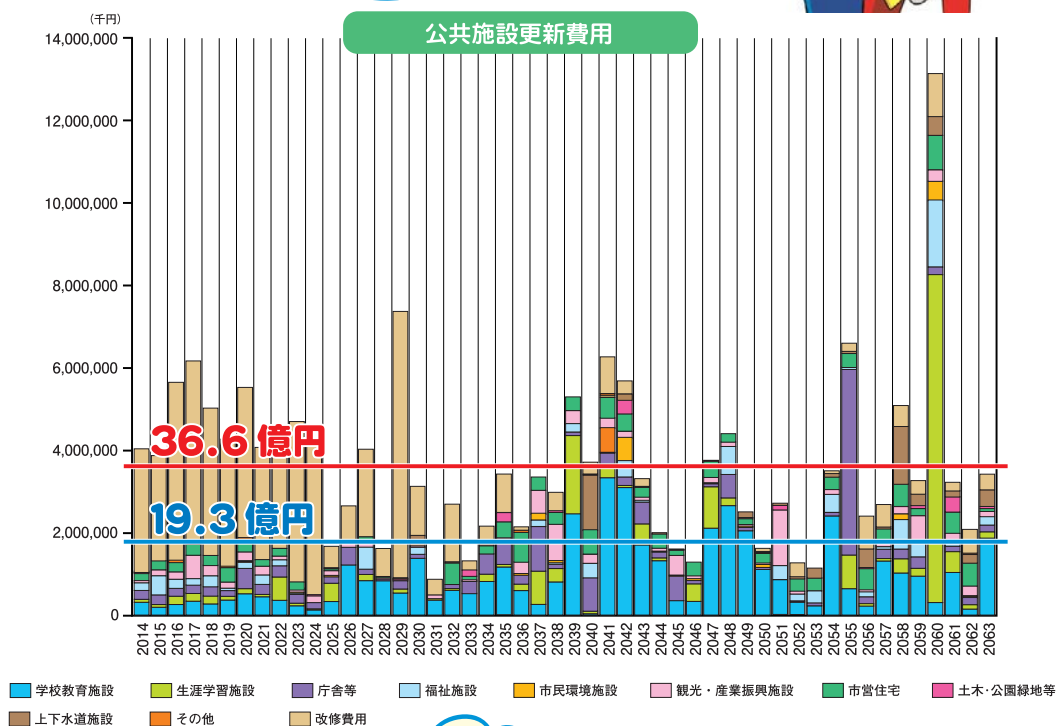
学校は古くて面積も大きいんだね。

グラフの割合(%)は、四捨五入しているため合計が100%にならないことがあります。



Q 建替えや修理にはどれくらいのお金がかかる？

これまでに建てた**公共施設**をすべて、
建替えたり修理したりすると、**今後50
年間で約1,800億円**かかるんだ！**1年
あたり約36.6億円**も必要なんだよ。



ちなみに、過去3年間に
関市が公共施設のために
使うことができたお金は
1年あたり**約19.3億円**
だったんだよ

全然足りない！
全部の公共施設の立替えや
修理はできないってこと？



公共施設再配置について、わかりやすく説明したマンガ「それゆけ！マネジマン」もぜひご覧ください。公共施設白書やマンガは、関市立図書館、武芸川・武儀分館、洞戸・板取・上之保室にて見ることができます。また、市ホームページでも閲覧することができます。

◆ホームページアドレス <http://www.seki.city.lg.jp>

